

前回、漁獲数量などを科学的に管理しよう求める声が出た。最も拳がった声がある一方で、漁獲枠配分の公平性などの不安意も、入網してへい死した見も多しを紹介した。加えて「漁業現場の実際の動きがどう変わるか」読めないことも不安を呼んでいる。

政府は水産改革で資源減の解消を狙う。だがアンケートで改革を知っていると答えた28人に印象を聞くと、「資源が回復する」は21%、「漁業者がもうかる」は4%で、「大規模な漁業者が得をして小規模な漁業者が損をする」が57%、「成果が出るまでに時間がかかる」が46%、「漁業規制が厳しくなって漁業者の収入がしばらく減る」が43%。政府の意図と漁業者の印象に開きがある。

# どう変わる、現場の動き

## 水産改革 読めないことが不安の種に

「混獲」がある。山口県で底引網漁に従事する濱田秀樹氏も「一方的に（魚種別の漁獲規制

で）『この魚を獲らないで』と言われても、その種類を狙って避けることはできない。『網に入ったも生きていれば放流する』など漁法別の具体的な検討や説明が不足しているのでは」と語る。

また、マグロ管理の問題点に漁業者の納得感もある。管理に「意義がある」と納得できなければ、従わない漁業者が増えかねない。3年前に北海道の漁協がマグロの漁獲枠を超えて獲り続けた当時も、関係者から「その漁協はマグロ管理に納得していない様子だった」との証言があった。

今回の取材では、マグロ管理以外に「漁場の区域違反をしている漁業者が多数派で、黙認されている。区域は古くからあるが、なぜ保護されているか」という目的は知らないし共有されていない。

阿部誠二氏は「操業を減らして体に余裕が出た」といっている。空気があり、海上保安庁の監視の目を避けるため連携する漁業者集団もいる。（解決に「監視を強めるしか話すと、経営をセツトしてくれないのでは」）（匿名・底

政府があなたの主力漁業・魚種に対して科学的な根拠に基づいた資源管理（漁獲制限）を強化し、協力を求めてくるとします。そのとき、あなたが協力を検討するためには、政府が以下のような方針で進める、もしくは以下のような準備を整えることが、どの程度必要だと思いますか

	全く必要だと思わない	必要だと思わない	どちらともいえない	必要だと思う	とても必要だと思う	合計	加重平均
①制限を受ける漁業者に補償をする	0.00% 0	0.00% 0	12.00% 6	36.00% 18	52.00% 26	50	4.40
②漁法や漁場を変える漁業者を支援する	0.00% 0	4.00% 2	12.00% 6	50.00% 25	34.00% 17	50	4.14
③大規模な漁業者ほど強い制限をかける	2.00% 1	4.00% 2	34.00% 17	28.00% 14	32.00% 16	50	3.84
④規模に関係なく全ての漁業者に公平な制限をかける	4.00% 2	20.00% 10	44.00% 22	30.00% 15	2.00% 1	50	3.06
⑤漁業者同士の話し合いの場を設ける・増やす	0.00% 0	2.00% 1	28.00% 14	48.00% 24	22.00% 11	50	3.90
⑥漁業者と行政の話し合いの場を設ける・増やす	0.00% 0	0.00% 0	12.00% 6	58.00% 29	30.00% 15	50	4.18
⑦魚介が減ったり増えたりする理由を解明する	0.00% 0	0.00% 0	14.00% 7	40.00% 20	46.00% 23	50	4.32
⑧魚介が育つのに適した環境を整備する	0.00% 0	0.00% 0	4.00% 2	54.00% 27	42.00% 21	50	4.38
⑨種苗を生産し放流する	0.00% 0	0.00% 0	16.00% 8	42.00% 21	42.00% 21	50	4.26
⑩違法操業の漁船（外国漁船含む）の監視、取締を強化する	2.00% 1	0.00% 0	6.00% 3	38.00% 19	54.00% 27	50	4.42

「違反してもバレなきゃいい」という空気があり、海上保安庁の監視の目を避けるため連携する漁業者集団もいる。（解決に「監視を強めるしか話すと、経営をセツトしてくれないのでは」）（匿名・底

「混獲」がある。山口県で底引網漁に従事する濱田秀樹氏も「一方的に（魚種別の漁獲規制

「混獲」がある。山口県で底引網漁に従事する濱田秀樹氏も「一方的に（魚種別の漁獲規制

「混獲」がある。山口県で底引網漁に従事する濱田秀樹氏も「一方的に（魚種別の漁獲規制

